

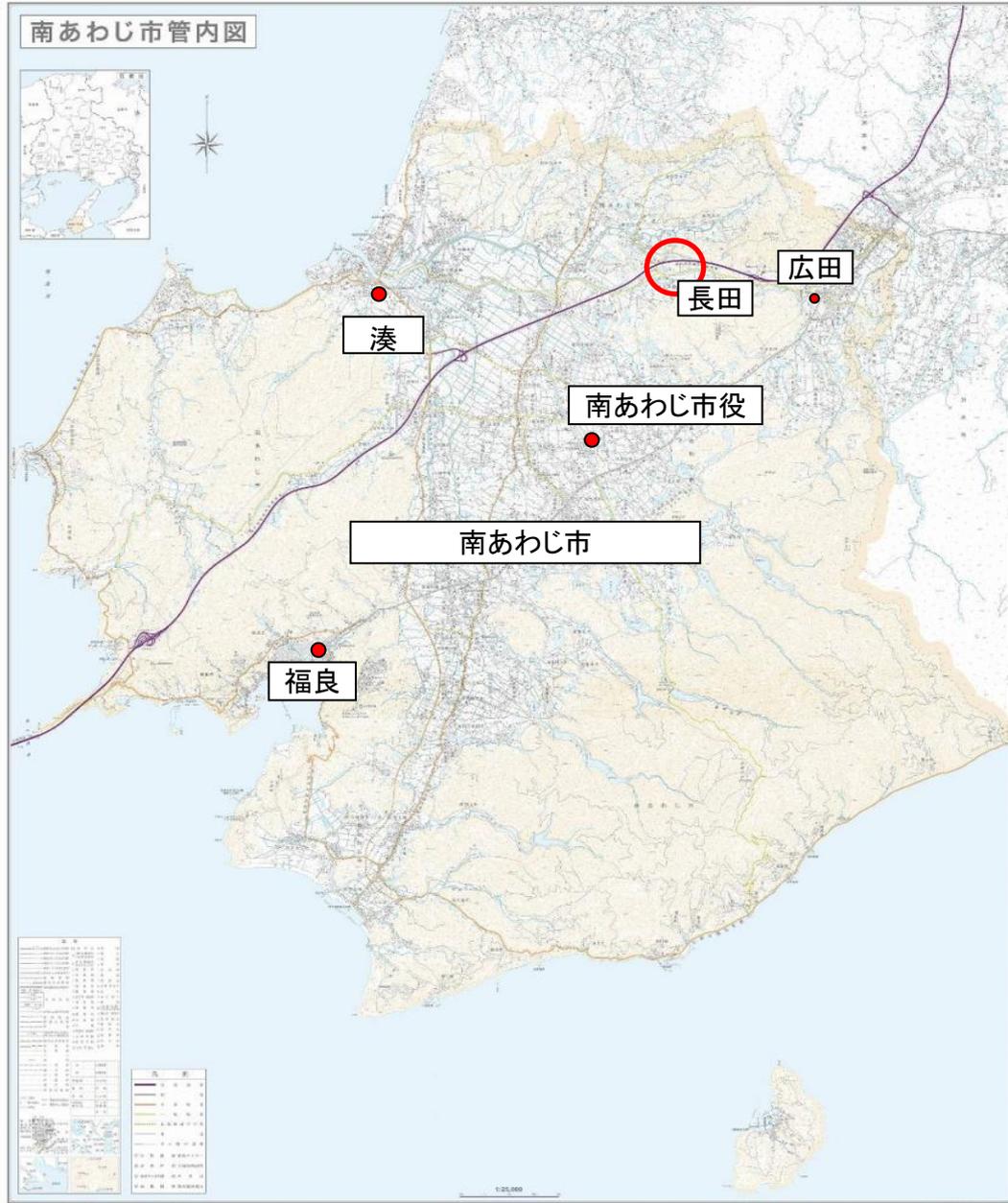
長田地区就農・定着応援プラン

思いを行動に長田を耕せ！！



南あわじ市倭文長田

長田集落位置図



長田集落の概要



1. 集落の位置

当集落は、南あわじ市と洲本に隣接する山間部になります。

2. 集落の人口

南あわじ市の人口45,636人の内、長田集落には人口約320人が生活しています。

3. 気候

年間平均気温は約16.3℃、年間降水量は約1,300mm、日照時間1,760時間 冬は温暖で野菜栽培に適した気候となっています。

4. 地域農業の特徴

南あわじ市は水稲と野菜を組み合わせた三毛作農業を展開しており、淡路島たまねぎ、レタスは全国的にも有名でブランド化されています。当集落では水稲と玉葱、レタス、白菜をメインに作付けをしています。

5. 長田集落の観光

当集落には、観光地はございませんが、ほたるの里公園があり夏になると蛍を見ることができます。



長田が推すおすすめ品目ランキング！

おすすめ品目ランキング

第1位「レタス」



生育期間が短く10月中旬から5月まで長く出荷ができるのが特徴です。1年に同じ圃場で3回も収穫できるので少ない面積で多く生産することができるのがおすすめ1位の理由です。

第2位「玉葱」



淡路といえば玉葱というくらい有名な玉葱です。もう淡路では珍しくなったつり球乾燥を行えるのもここ長田では玉葱小屋がまだ残っており可能です。ブランド化が確立していますので、販売も強くお勧めです。

第3位「水稻」



3位が、水稻です。中山間地域ですので、土に粘り気があるのが特徴で水もため池からの給水ですが、山から流れ込んだ綺麗な水で作るお米は、絶品です。

ランキング外にも白菜やブロッコリーなど素敵な野菜をつくることができます。

長田集落の経営モデル

1. 営農類型・・・ 「水稻」 + 「野菜」 の複合経営

2. 経営面積・・・ 所有地 50 a + 借地 100 a = 合計 150 a

3. 年間営農スケジュール

作物名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
水稻						田植え			稲刈り			
たまねぎ		定植				収穫	出荷					定植
レタス		出荷	定植終了		出荷終了			圃場準備	定植開始	収穫開始		出荷

4. 農業所得 農業収入 1500 万円 経費 1000 万円 農業所得 500 万円

5. 年間労働時間 日数 280 日 労働時間 2250 時間

6. 主な所有農業施設、機械一覧

- ・ トラクター
- ・ 田植え機
- ・ コンバイン
- ・ マルチャー
- ・ 軽トラック
- ・ 動力噴霧機
- ・ 草刈り機
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____

7. 経営の構成

常時従事者 1 名 雇用労働者 1 名 臨時雇用労働者 2 名

8. 地域の営農を教えてください！

当地区を含め南あわじ市では、水稻で生計を立てるのではなく、夏場には水田に水を張ることで土壌消毒をして次期作に備え、酪農も盛んな為WCS等の飼料作物に取り組む経営体も多く水稻以外の選択肢も色々あります。冬場の野菜作を中心に経営を考えるのが主な考え方になります。

土づくりについて

淡路島は、酪農も盛んなため上質の堆肥が手に入るのが特徴でその堆肥を大量に混ぜ込み行います。他にも地力増進作物のすき込みや有機物のすき込みなどを行い地力低下を防ぎよりいい土づくりを行っております。

野菜作りについて

淡路島の特徴は、真冬でも積雪はほとんどなく一年中野菜の生産ができ1年中収益を上げ経営を安定させることができることが大きな特徴です。台風時期でも当地区では、灌水等の被害は、基本的にはなく台風時期に定植する野菜には向いている地区になります。

長田集落が求める“農”の担い手さん

○ 当集落が求める“農”の担い手は

- ・ 短期のインターンシップで地域農業を体験したい若者
まずは、長田集落がどんな農業をやっているのどんな人がいるにかどんなところなのか知ることから始めませんか？
短期で農業体験（アルバイトでも可）をしてみたいという方を募集します！
地域農業を知るには「体験」することから始め農業のイメージを膨らませることから始めましょう。
- ・ 親方農家さんのところで数年間、雇用から農業をしてみようと思える若者
知らない土地に移住していきなり農業経営はできません！
まずは、親方農家さんのところで農業修行をしてみませんか？
Top Fieldさんは雇用経験も豊富で地域のリーダーでもあり、安心して農業ができます。自立して独立するというスタイルを目指しています。
- ・ 強い志を持った若者
いくら農業がしたくても目指すべき農業がイメージできなくてはすぐに心が折れてしまうことがあると思います。ですが、体験やアルバイトを通して自分の目指すべき農業の形を明確にし何としても成し遂げるという高い志の形成が必要であると考えております。

○ 当集落での独立・就農プラン

当集落では以下のような独立・就農プランを策定し、就農希望者を募集しています。

6年目の独立就農を目指し、Top Fieldにおいて雇用就農という形態をとりつつ「生産スキル」と「経営スキル」を身につけていきます。
5年間は、Top Fieldに在籍してもらい、3年間は親方や先輩の指導の元で基礎的な経験を積み重ね、4年目と5年目から自己管理の圃場を運営します。その時に出した利益を独立資金とする。ほ場は、Top Field管理のまま行います。
5年間かけて地域とのつながりを持ってもらうため地域活動（田主の草刈りや溝掃除等）にも積極的に参加してもらいます。
なお、独立前には自己管理のほ場について、借り換えの手続きを行っていきます。

- ・ 雇用期間中に学べること、またはメリット
生産技術指導、生産計画の作成方法・経営計画の作成方法の指導、免許習得支援
農業用機械のリース、委託作業、ほ場の紹介
- ・ 独立自営就農に向けた地域のバックアップ
生産圃場の紹介・空き倉庫、空き家の紹介ができます。地域組織が所有する農機具のリースもすることができます。
- ・ 販路
独立後はTop Fieldが持つ販路において、販売することができます。
農協等販売先の紹介できます。
販路拡大のバックアップ

長田集落における独立自営就農計画

○長田集落の親方農家の紹介と就農プランの内容



Top Field

水稻+野菜

私たちTop Fieldは、誰にでもできることを誰にもできないレベルで追求するを理念とし日々野菜作りに取り組んでおり安全・安心・美味しいは、大前提でありもっと深みのある野菜作りを日々求めて取り組んでおります。そして、若い力とアイデアで地域農業の未来を創るため日々活動している農家です。

1年目

1 生産面

- (1) 手作業がメインで鋤作業や排水作業など手作業の基礎知識を向上。
- (2) 機械に慣れるため、管理機や動噴による防除等の小さな機械の基礎知識を向上。
- (3) 種まきから収穫するまでの野菜を管理する上での基本的な手作業の技術を向上。
- (4) 1年間通しての流れ（播種作業から収穫作業まで）を経験する。
- (5) Top Fieldの基本的な作付計画について理解を深める。

2 経営面

- (1) Top Fieldの経営計画の基本について理解を深める。
- (2) 計画策定上でのキャッシュポイント等、お金の流れについて理解を深める。
- (3) Top Fieldの事例を参考に一反あたりの歩留まりや収益について理解を深める。
- (4) 労働分配や原価について理解を深める。
- (5) 販売の仕組みについて理解を深める。

3 免許の習得

- (1) トラクターやリフト等、農業経営に不可欠な機械の免許を順次習得する。

2年目

1 生産面

- (1) マルチャー等、小さな機械の技術向上。
- (2) トラクターの基本操作方法を理解し、最低限の技術の習得を図っていく。
- (3) Top Fieldの生産計画の作成補助をする。
- (4) 苗やほ場管理の基本を理解（除草のタイミングや防除のタイミング等）
- (5) 1年目に行った作業で自分の苦手な作業の克服。
- (6) 1年目の経験を基に後輩の育成を行う。

2 経営面

- (1) 原価や歩留まりについて、在庫管理や収量管理の補助を行いながら理解を深める。
- (2) 3年目に自己管理で実際に作るための営農計画と収支計画を作成する。
- (3) 労務管理の基礎知識と管理方法について理解を深める。
- (4) 経営セミナーに積極的に参加する。

長田集落における独立自営就農計画

3年目

1 生産面

- (1) 全ての作業を自立して行えるように更なる技術向上。
- (2) Top Fieldの生産計画を策定し、理解した上で実践する。
- (3) 2年目で管理を行った結果を基に反省点を洗い出し改善を図る。
- (4) 機械操作の苦手なところの洗い出しを行い、克服。
- (5) 人材の振り分けを行い、全体的な段取りを行う。
- (6) 自己管理ほ場において実際に農産物の生産を行う。

2 経営面

- (1) Top Fieldの経営を参考に振り返りと改善の提案を行う。
- (2) 独立に向け、4年目と5年目の作付・資金計画を策定させ、発表する。
- (3) 6年目からの作付・資金計画を策定する（独立後～5年間分）

4年目

1 生産面

- (1) 3年目の反省を踏まえ、技術的な苦手箇所を克服する。
- (2) 次世代の育成指導を行い、自己技術も共に向上させる。
- (3) Top Fieldの計画を中心的な位置で運営する。
- (4) 自己ほ場の運営を開始する。

2 経営面

- (1) Top Fieldの経営を見直し、更に改善点を見出した上で改善する。
- (2) 自己経営の分析と改善点の洗い出しを行い、5年目に活かせるよう計画の軌道修正を行う。

5年目

生産面・経営面

- (1) Top Fieldの次世代を生産計画面や技術面で育成する。
- (2) 自己ほ場の経営分析を実施し、6年目からの独立自営就農に備える。

長田集落での生活面でのお知らせ

・ 住居

長田集落では現在、使用可能な空き家がありません。
お住まいは、長田集落近郊のアパート等を借りることをお勧めします。
(紹介相談可)

・ 地区入り

長田集落で一軒家を構えると自治会に入会する必要があります。
自治会費は6,500円/年(条件により異なる場合があります。)ですが、雇用就農期間は自治会に入会する必要はありません。
農地の習得をしますと農会に入会し農会費が反当割で必要になります。

・ 家庭用ゴミの取扱い

家庭用ゴミは公会堂横のゴミステーションで以下のとおりとなっています。
可燃ごみ：週2回 火曜日・金曜日
不燃ごみ：南あわじ市のごみカレンダーを参考にしてください

・ 水路の清掃活動や草刈り

全島一斉清掃が毎年7月と11月にあります。
その他、地域全体で草刈りや水路掃除があります。
地域の農業に関わる者が殆ど参加します。雇用期間中でも参加が必須です。

河川の草刈りの様子

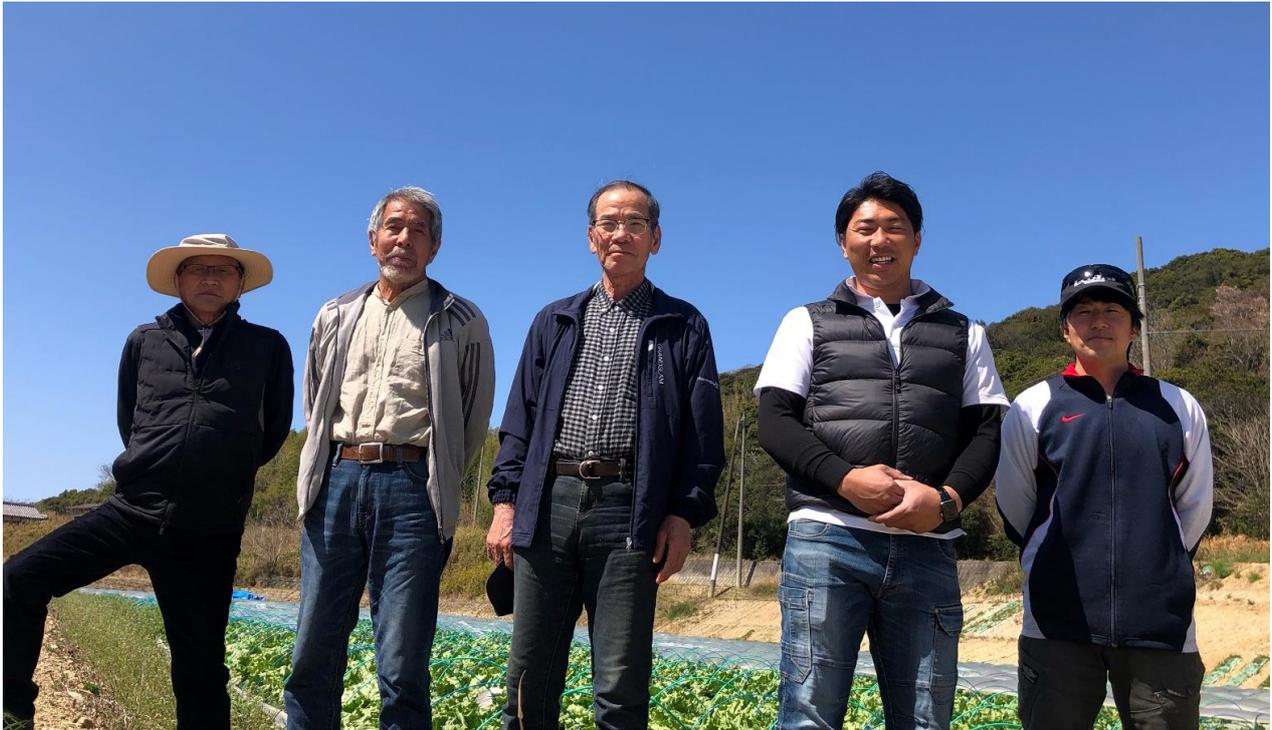


小学生の田植え体験の様子



池の点検の様子





役割分担

Top Field	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用就農情報の提供 ・ 農業体験サポート ・ 農地確保のサポート ・ 販売先のサポート ・ 技術指導
担い手農家 今井博次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業体験サポート ・ 技術指導
農会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地確保のサポート
自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の溶け込み支援（行事への参加案内等）
市町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業支援制度、移住定住制度の情報提供、調整 ・ 応援チームのフォローアップ
普及センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術指導 ・ 農業支援制度（県）の情報提供、調整

【お問合せ】

南あわじ市役所 農林振興課 ☎ 0799-43-5223